

第4回 多言語対応協議会 (開催報告3) 防災ピクトグラムの標準化と緊急速報の多言語化

災害時の外国人への情報提供に有用な防災ピクトグラムの標準化と外国人を守る緊急速報の多言語化の取組事例

JIS原案 作成委員会案	
津波・高潮 (従来の図記号を活用。 一般図記号も作成)	
洪水 内水氾濫	
崖崩れ 地滑り	
土石流	
大規模な 火事	

災害種類を表す図記号の JIS 原案。平成 28 年 3 月を目処に JIS 制定を目指す。



避難場所の表示方法として、災害場所と災害種類を併記し、日本語と英語の表記を併用するイメージを提案

「第4回 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」(平成27年12月22)では、内閣府から「避難場所等のピクトグラムの標準化(検討状況)」、気象庁から「緊急地震速報・津波警報の多言語化について」といった防災における外国人への情報発信の取組事例が報告された。

災害時に日本語が不自由な外国人に情報提供する手段として、絵で情報が伝えられるピクトグラムは有用である。しかし、ピクトグラムは地域ごとに独自のものを作成してバラバラに使われていた時期があり、現状まだ全国で統一されていない。内閣府の「避難場所等のピクトグラムの標準化(検討状況)」の報告では、ピクトグラムの JIS 制定に向けて、JIS 原案作成委員会が図案を作成し、経済産業大臣への報告と 12 月 21 日にパブリックコメントが開始されたことを紹介。また、「津波・高潮」「洪水・内水氾濫」「崖崩れ・地すべり」「土石流」「大規模な火事」等の JIS 原案が示された。さらに避難場所の表示方法については、避難場所と災害種別のピクトグラムを併記し、日本語と英語での表記を併用する提案が報告された。

気象庁からは内閣府、観光庁と連携した緊急地震速報・津波警報の多言語辞書の作成に関する報告があった。作成された辞書は、緊急地震速報に関する表現を翻訳し、平成 27 年 3 月に公表された多言語辞書に、同年 10 月、津波警報に関する表現を追加されたもの。英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語での表現が掲載されており、あわせて簡単な日本語なら理解できる外国人向けに、より「やさしい日本語」の表現も掲載している。

気象庁としては、「この辞書を情報配信業者等に公表することで、緊急地震速報・津波警報の多言語化対応を促進したい」とのこと。その結果、日本には緊急地震速報、津波警報という防災システムがあるということが、外国人にもより認知され、活用されることが期待される。

実際、内閣府では、この「緊急地震速報・津波警報の多言語



辞書」を「定住外国人施策ポータルサイト」で活用し、定住外国人への多言語情報提供を行っている。また観光庁では、スマートフォン用災害時のプッシュ型情報発信アプリ「Safety tips」を多言語対応させ、緊急地震速報や津波速報を英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語でも伝えることで訪日外国人の防災支援に取り組んでいる。

2020年オリンピック・パラリンピックに向け、これらの取組を確実に進めていくことで、在日・訪日外国人が安心して滞在できる環境が整って行くことが期待される。

災害時のプッシュ型情報発信アプリ

「Safety tips」の画面

問い合わせ先

問い合わせ先 : 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会事務局
東京都オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部

電話番号 : 03-5388-2169